

バッテリー式フォークリフト FEseries (FE25/25H/30-1)



港の朝。魚たちを
優しさが出迎える。

豊漁の水揚げ作業、排気ガスも騒音もない。
クリーンな電動式で、軽やかに魚を運ぶ。

午前5時、港に横付けされた漁船からカツオ水揚げが始まる。コンベアで運ばれたカツオは、自動選別機で重さに振り分けられ、ブルーの浴槽型タンクに次々と送り込まれる。

最大重量1トンにもなる、このタンクの運搬に力を発揮するのが、FE30だ。カツオでタンクがいっぱいになる前に、フォークリフトで保管場所まで運搬する。

電動式なので、排気ガスは出ないし、静粛性も高い。操縦性が良く、キビキビ動くので、みるみるうちに作業は進んでいく。

東日本大震災から8年、2019年3月、気仙沼市魚市場に新たな作業棟が2つ完成したのを機に、FE30が導入された。

その経緯について、気仙沼漁業協同組合魚市場部の熊谷浩幸・業務部長は、こう説明する。

「消費者の方に安全で安心して魚を提供するために、当魚市場では、高度衛生管理型市場を目指しています。それを実現するために、新作業棟は外から鳥や虫が入り込まないように閉鎖型としました。密閉された空間で作業するので、従来のエンジン式は使えません。われわれの目標を達成するには、この電動式フォークリフトが不可欠だったのです」

実際には、水揚げなど、屋外で行う作業も少なくない。そういった際でも、「電動式だと、魚が排気ガスにさらされることはないし、作業員の健康にもよい。以前と比べて、作業環境は一段と改善されました」(熊谷部長)

午前6時30分すぎ、水揚げ作業が一段落するころになり、ようやく気仙沼港の夜が明けた。



CO₂排出を大幅削減
電動式ゆえに排気ガスが出ず稼働も静か。
クリーンな空気で人にも生鮮食品にもやさしい。

時間も労力も抑える急速充電。 「海の幸」を支えるパワフルな車体。

FE30の導入にあたって、熊谷部長ら漁協関係者が大きな期待を寄せたのが、FEシリーズならではの急速充電機能だ。

「繁忙期には、1日8時間以上の作業が必要なきもありません。そういうときに、1時間でバッテリー容量の80%まで充電

が可能な急速充電の機能は、とても頼りになりますね。それに、イージーメンテナンスバッテリーを搭載しているので補水作業の手間がはぶけます。ガソリンと比べてのコストダウンにも期待しています」(熊谷部長)

一方で、常に海水にさらされるという特別な作業環境から、防水性も重視して導入機を選んだという。

「もともと水気が多い環境なうえに、より衛生度を高めるために、新作業棟では出入りの際にフォークリフトのタイヤを自動洗浄する設備を導入しました。より水にさらされやすい環境において、この電動式フォークリ

フトの防水性の高さには大いに助けられています」(熊谷部長)

現在、同魚市場で稼働しているフォークリフトの半数がまだエンジン式。いずれは、100%電動式に切り替える予定だという。

熊谷部長は、FE30への期待をこう話す。

「漁港としてさらに発展していくためには、出荷する魚に付加価値を付けることが必要で、そのためにはとにかく作業効率を上げなくてはなりません。安全性や操縦性、あるいは防水性の面など、あらゆる面で大きく貢献してくれることは間違いありません」

東日本大震災からの復興をFE30が力強く後押ししている。



気仙沼漁業協同組合
魚市場部
業務部長 熊谷浩幸さん
オペレーター歴22年



急速充電機能を搭載

1時間でバッテリー容量の80%まで充電が可能。繁忙期や突発的な残業などへの対応が可能。また、大型のカラーマルチモニターでバッテリー残量や走行速度をひと目でチェック。



ハードな環境に強く、手入れも楽

JIS防水保護等級IPx4をクリア。天候に左右されず、年中海水にさらされても、水をまき上げながら確実に稼働するパワフルな車体。

復興、そして発展へ。
頼りになる仲間です。



本チャシに関する動画はこちら▶

【ご使用上の注意】

- 本チャシの仕様および装備は、改良のため予告なく変更することがあります。●本チャシに印刷された車両の色調は、印刷の都合により実際の車両と多少異なって見えることがあります。●本チャシ記載の数値は、標準仕様のスペックを表記しています。
- 本チャシ内の写真はチャシ用の姿勢をとっている場合があります。車両を離れる際は、取扱説明書に従い安全に配慮した姿勢にしてください。

【お問い合わせ先】 コマツカスタマーサポート株式会社 〒108-0072 東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー4F [URL] <http://www.lift.co.jp>